

製品名: 切断型 PAR-4 (G48) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09023**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	F2RL3
別名	F2RL3; PAR4; Proteinase-activated receptor 4; PAR-4; Coagulation factor II receptor-like 3; Thrombin receptor-like 3
遺伝子 ID	9002.0
SwissProt ID	Q96R10
免疫原	抗血清はヒト PAR4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 29-78

背景

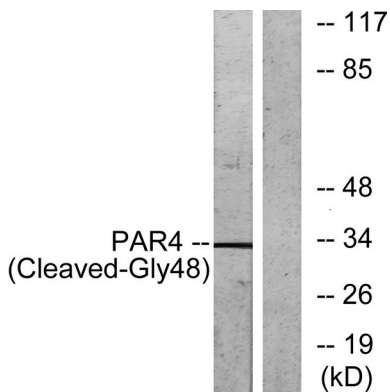
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属するプロテアーゼ活性化受容体サブファミリーのメンバーをコードしてい

ます。コードされている受容体はタンパク質分解によって処理され、細胞外 N 末端に結合したリガンドが受容体に結合して活性化します。この受容体は、血液凝固、炎症、疼痛反応に関与しています。この遺伝子の低メチル化は、ヒト患者における肺がんに関連している可能性があります。[RefSeq 提供、2016 年 9 月]、機能: ホスホイノシチド加水分解を刺激する G タンパク質に共役した活性化トロンビンまたはトリプシンの受容体。血小板の活性化に関与している可能性がある。、PTM: タンパク質分解により、結合型リガンドとして機能する新たな N 末端が生成される。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、組織特異性: 広く発現しており、肺、膵臓、甲状腺、精巣、小腸で最も高い発現を示す。脳、腎臓、脊髄、末梢白血球では発現しない。血小板でも検出される。、

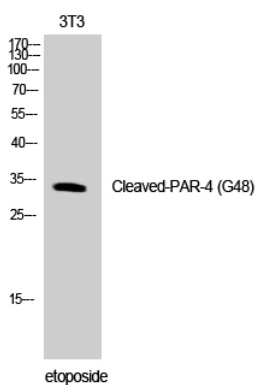
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



エトポシド 25 μ M で 1 時間処理した NIH/3T3 細胞のライセートを PAR4 (Cleaved-Gly48) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロックした。



Cleaved-PAR-4 (G48) ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット解析